

2018年度の事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

特定非営利活動法人シニアライフセラピー研究所

1 事業の成果

○ 地域支援事業

＜憩いのサロン亀吉＞

- ・陶芸、中国茶、ウクレレ、傾聴講座のプログラムが増えたので、利用者の顔ぶれが新しくなった
- ・それによって、会場内の雰囲気が開放的になり、稼働率が上がった
- ・限られた部屋をシェアすることにより、自然に協力体制が芽生えた
- ・戸建てのため、庭を利用することができる。そこで収穫した野菜を会員が分け合ったり他の店舗で利用するなど、有効利用できた
- ・利用者に当法人のパンやお弁当の販売をすることによって、利用者同士の交流が図れた
- ・会費や利用料の徴収は煩雑な作業だが、ボランティアさんの自主運営でやっていただいているのは特筆すべきことである
- ・マスコミの取材や行政の見学を通じて、活動を広く知ってもらえたのは、同じ事業を運営する団体の励みとなった

＜フリースペース事業＞

- ・毎月、50近くの講座やイベントが行われており、幼児から高齢者まで幅広く利用されている
- ・有料のものと無料のものがあるが、その目的に合った使われ方をしている
- ・遠くまで行かなくても、知識や教養が深まり、健康的なプログラムも多いため、利用者が急増している

＜亀屋音楽堂＞

- ・音楽を通じて、地域の交流を図る
- ・技量に応じた企画を設けており、誰もが聴き手と演奏者になれる
- ・プロの演奏を近くで安価に楽しめる

○ 福祉有償運送事業

- ・利用は多くないが、在宅高齢者や障がい者の移動手段として役立っている
- ・介護タクシーとは違った利用方法や料金設定が喜ばれている

○ 居宅サービス事業

「便利屋亀吉」

- ・料金を介護保険に近づけたが、今まで利用できなかった層からの依頼も受けられるようになった
- ・それに付随して、法人にも収入が入るようになった
- ・報酬がアップしたおかげで活動員も増えたため、お断りするケースが少なくなった
- ・どんな軽微な依頼も快く引き受けてもらえるという安心感が、利用者には最大の利点となった

- ・地域のシニアの活躍の場となっている意義は大きい
- 介護保険法に基づく居宅介護支援事業及び介護予防支援事業
 - ・ 障がい者の計画相談も増えてきたため、支援の幅がより広範囲となった
 - ・ 不動産部の困難ケースのケースワーカーとして助言することも多くなった
- 介護保険法に基づく居宅サービス事業、介護予防サービス事業、地域密着型サービス事業、及び地域密着型予防介護事業
 - ＜ヘルパーステーション亀吉＞
 - ・ 月に一度、ヘルパー会議を開催し、困難ケースの検討、申し送り事項の徹底を図れた
 - ・ 障害者の移動支援が増え、これまで外出困難だった方の行動範囲が広がった
 - ＜カルチャースクール亀吉＞
 - ・ かめキッチンの開設により、高齢者支援の既成概念が大きく変わった
 - ・ デイサービスの機能訓練が受動的から能動的に変化した
 - ・ かめキッチンの画期的な構想に着目され、取材や見学が多かった
 - ・ それにより、法人のブランドとしての地位が確立した
 - ・ 夢かなツアーの開催により、行けない、出来ないと思っておられた高齢者の方がいきいきとされた
 - ・ シニアボランティアが増え、高齢者の社会参加の受け皿となった
- 心理・福祉・介護に係る教育研修事業
 - ・ 「傾聴ボランティア養成講座」の応募者が多く、急ぎよ、追加講座を開催するまでになった
 - ・ ユーキャンの講座を持つことにより、傾聴分野に新しい道筋を提供した
 - ・ 単発の講座は広域に及び、傾聴を通して福祉部門の啓発活動が活性化した
- 心理・福祉・介護に係る調査、研究、情報収集及び情報提供事業
 - ・ 福祉倶楽部の開催により、福祉を深く系統的に理解できるようになった
 - ・ 毎月発刊の情報誌、News の購読者も多く、よりきめ細かい情報発信ができた
 - ・ 広報部の本格的な活動により、内外ともに法人紹介をした結果、広く情報がいき渡り、法人への理解度が高まった
 - ・ 福祉事業所としての提言する機会も多く、その結果、ネットワーク化の促進に寄与した
- 国際交流支援事業
 - ・ タイの福祉基金運動も定着し、それ目的の寄付金も継続して集まっている
 - ・ タイの里親制度の支援も継続し、成長した子供たちの母国での活躍が見られる
- 子ども健全育成支援事業
 - ・ 自主運営する子育てサロンを引き続き応援し、場所の提供、運営の支援をした
 - ・ 週1度だが、「子ども食堂」を開店し、ボランティアさんの思いを実現させる場となった
- 市民活動推進支援事業
 - ・ 他 NPO 法人や任意団体の立上げ、運営に助言するとともに、自ら参画して広く意見を述べた
- 障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業
 - ＜福祉コミュニティカフェ亀吉＞
 - ・ 期中、「Mamma mia」と店名を変え、イタリアンレストランとしたため、客層も変わった
 - ・ 調理過程、メニューのシンプル化により、利用者の出来る作業が格段に増えた
 - ・ 情報誌の折込み、封入作業等、自分のスキルに応じた仕事を選べるようにした

- ・全てをマニュアル化し、誰もが働ける環境を整備した
- <パン遊房亀吉>
- ・飽くなき試作品の追及により、美味しく体にも優しいパンの開発に努めた
 - ・積極的に外部イベントへの出店、公民館などの販売を行った
 - ・近隣の商店街にも出店を設け、法人の周知とともに、地域に溶け込む努力の結果となった
 - ・什器備品を充実させ、作業工程のシステム化をはかった
 - ・「さとふる」パン部門第1位よって、取材等外部への露出度が高くなり、仕事への意欲が増した
 - ・かめキッチンの食事提供最前線部門として、お客様に接する機会が驚異的に増えたため、グリーターを配置し、お客様がご不便を感じない努力をした

<グループホーム亀吉壺番館、サテライト>

- ・住居と職場を同時に提供することによって、「生活を丸ごと支援していく」という本来の目的に近づいた
- ・世話人さん会議、個別カンファレンスを通じて、利用者に必要な支援を常に研究している
- ・金銭管理など、生活の基礎的なサポートをすることにより、少しでも自立した生活ができる支援をしている
- ・障害者の暮らしやすいまちづくりのモデル事業として定着した

○福祉を目的とする宅地建物取引業

- ・不動産専門家とケースワーカーとのコラボ相談会により、どこに相談に行っているのか分からない人達の役に立った
- ・「くらまち情報館」の定期発行により、多くの事例の蓄積をはかれた
- ・「無料相談会」のみならず、事業所への相談者も多く訪れ、専門家との連携で、問題解決の糸口を提示できた
- ・入居希望者を入居相談から契約まで一元的にサポートできるため、相談者のストレスを軽減できた
- ・居住支援協議会への参画により、横のつながりを利用した情報を取得できた
- ・居住支援補助金を受けることができたので、住宅確保要配慮者に専従の職員をおくことが可能となった

○地区郷土づくり推進会議参画事業

- ・法人職員も鶴沼郷土づくり推進会議に協力員として参画しており、数々の提言をした
- ・町内行事やイベントにも多く参加し、地域の一員としての法人を認知してもらえた

○禁煙事業

- ・事業所内外を問わず全て禁煙とし、受動喫煙防止対策を講じた
- ・健康関連の外部の団体にも積極的に協力している

2 事業内容

事業名	内容	(A)日時 (B)場所 (C)従事者人員	(D)受益対象者 (E)人数	支出額
地域支援事業	通いの場事業	(A) 通期 (B) 藤沢 (C) 8名	(D) 藤沢 (E) 50人	4,024,112

福祉有償運送事業	移送サービス事業	(A) 通期 (B) 藤沢 (C) 4人	(D) 藤沢 (E) 5人	240,000
居宅サービス事業	便利屋事業	(A) 通期 (B) 藤沢 (C) 10名	(D) 藤沢 (E) 50人	618,600
介護保険法に基づく居宅介護支援事業及び介護予防支援事業	居宅介護支援事業 介護予防支援事業	(A) 通期 (B) 藤沢 (C) 3名	(D) 藤沢 (E) 35人	4,950,716
介護保険法に基づく居宅サービス事業、介護予防サービス事業、地域密着型サービス事業、及び地域密着型予防介護事業	ヘルパーステーション	(A) 通期 (B) 藤沢 (C) 15名	(D) 藤沢 (E) 約40名	13,023,576
	カルチャースクール	(A) 通期 (B) 藤沢 (C) 20名	(D) 藤沢 (E) 約50名	15,569,995
心理・福祉・介護に係る教育研修事業	傾聴ボランティア育成派遣事業	(A) 通期 (B) 藤沢 (C) 10名	(D) 県内 (E) 100名	5,927,873
心理・福祉・介護に係る調査、研究、情報収集及び情報提供事業	福祉倶楽部	(A) 月1回 (B) 藤沢 (C) 20人	(D) 藤沢 (E) 180名	15,000
	情報紙の発行	(A) 毎月1回 (B) 藤沢 (C) 10人	(D) 全国 (E) 1000人	2,676,515
国際交流支援事業	タイ留学及び研修	(A) 年1回 (B) タイ (C) 4人	(D) タイ山岳民族の子供 (E) 80人	240,000
子ども健全育成支援事業	子育てサロン 子ども食堂	(A) 通期 (B) 藤沢 (C) 15人	(D) 地域の親子 (E) 50人	120,000
市民活動推進支援事業	定例会出席など	(A) 年20回程度 (B) 神奈川県 (C) 10人	(D) 会員 (E) 100人	0
障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業	コミュニティカフェ パン屋 グループホーム	(A) 通期 (B) 藤沢 (C) 50人	(D) 藤沢 (E) 1,000人	105,329,120

福祉を目的とする宅地建物取引業	宅建業勉強会 相談会	(A) 通期 (B) 藤沢 (C) 10人	(D) 藤沢 (E) 3,000人	1,778,294
地区郷土づくり推進会議参画事業	会議出席など	(A) 通期 (B) 藤沢 (C) 5人	(D) 地域住民 (E) 3,000人	0